

Be ambitious!

2020. 12. 24 (木) 発行

兵庫県立有馬高等学校 第73回生 3学年通信 第7号

秋の農業祭・有高芸術祭(11/14[土])



行事自体は、前回の学年通信を出したあとに行われたので、もう1か月以上経ってしまいました。遅ればせながらになってしまって、ごめんなさい。

天候を心配していたにもかかわらず、当日になってみれば、「これぞ収穫祭！」と言わんばかりのいい天気でした。

3年生については、人と自然科(1組)がメインで、入試等を控えている人も多く、総合学科の生徒はあまり来ている様子もなく、少々残念に思いました。

しかし、世間の人はやっぱりよく知っていらっしゃるようで、たくさんの方がおいでになっていました。私の地元にも農業系の高校があり、文化祭(「清風祭」といいました)では生徒が作った野菜・果物、また加工した食べ物(佃煮・カルピスのような飲み物など)が並んでいて、大盛況だったのを覚えています。6年前にも農業系の高校にいたので、生産された野菜・花は、みな質の良いものであると知っています。

正午を回って1時ごろから、各所を訪ねまわったのですが、想像通り、品物はほぼ出尽くしたような状態でした。それでもいくらかは残っていて、3年生が声をかけてきてくれました。めずらしく、銀杏があり、なるほど!(校舎裏にたくさん落ちている)と納得して買いました。でもさぞかし売るまでは大変だったことが想像できました。匂いがしばらく染みついたでしょうね。でもそれはよく働いた証です。君たちにとって「勲章」のようなものですから、大切にしてほしいです。



「有高芸術祭」は清陵会館と校舎前ロータリー・中庭を会場として、文化部による催しが行われていました。今年は規模を小さくせざるを得なかったようですが、文化祭の火を絶やさず開催できたことはなによりです。片づけを少し早めに始めたこともあり、すべてを見ることはできませんでしたが、一部の3年生は自分の作品等を出していましたね。みなさん方の意外な一面を見ることができました。また、有高の吹奏楽部が演奏しているところを初めてみることもできました。

来年こそは元どおりの、行事ができることを願うばかりです。

ちなみに、私が収穫祭で買った野菜は、妹のところへ持っていきました。

ところが、訪ねてみると留守らしく、戻る時間に改めて持っていこうと考えて電話をしたところ、タイミング悪く旅行中とのこと。「今、松江(にいる)！。月曜日に帰る。」の声に驚き、仕方がないので玄関のそばの小さなスペースに置いて帰りました。野菜たちのその後を改めて尋ねたところ、おいしくいただいたとのことでした(喜んでいました)。

他人に喜んでもらえることは非常に大切なことです。この星は、誰かの仕事によって成り立っているのですから。

課題研究発表会(12/17[木])

総合学科の生徒による課題研究発表会が先週行われました。

今年は全14講座から45人が発表・プレゼンの代表者として登壇しました。今年の4月以降に個人・グループで取り組んできたテーマは多種多様で、どの発表も興味を惹かれるようなものであったと思います。以下は当日のプログラムです(多少編集しています)。

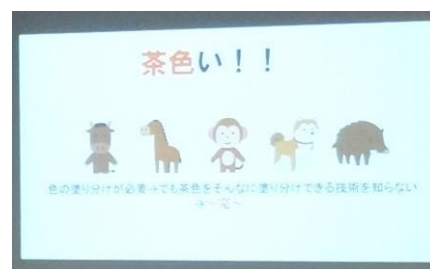
発表順	講座	テーマ
第一部	1 書 道	青い春
	2 食 物	野菜と“ともだち”になるために
	3 国 語	どんでん返しのからくり
	4 音 楽	トランペットについて 「転調」を音楽理論で解き明かす
	5 保健体育	利き足と非利き足について
第二部	6 生物実験	1年間の取り組み
	7 福 祉	メイクセラピー～メイクが及ぼす影響～
	8 食物探究	山田錦味噌のキャラメルチョコケーキ
	9 商 業	無敵のゲームを考える
	10 外国語異文化	日本と海外のダンスの違いについて 洋画の日本語字幕と英語のセリフのギャップについて
第三部	11 物理化学実験	探究三昧～答えのない問いに向き合うこと～
	12 保 育	子どもの夜泣きと遊び
	13 現代社会研究	子どもの職業選択は親の影響を受けやすいか？
	14 美 術	元の耳や尻尾を描かずに干支の動物たちの擬人化を作成する



生物実験



物理化学実験



美術



全景

みなさんの発表を見ると資料作りに時間がかかっている様子が伺えます。緊張もしたでしょうが、やがて人前で話をしなければならない日は、いつかきっとやってきます。今日のことはいつか役に立ちます。

1月の予定

日	月	火	水	木	金	土
12/20	21	22	23	24 全校集会 大掃除	25 共通テストの プレテスト	26 共通テストの プレテスト
27	28 仕事納め	29	30	31	1 / 1	2
←この間、学校は閉庁→						
3	4 仕事始め	5	6	7	8 全校集会・全校清掃 2～5限:授業 6 限:LHR	9
10	11	12	13 共通テスト直前ガイダンス	14	15 共通テスト受験者:午後公欠	16 共通テスト
17 共通テスト	18 共通テスト (自己採点)	19	20	21	22 学年末考査①	23
24	25 学年末考査②	26 学年末考査③	27 学年末考査④ 学習活動発表会リハーサル (6限～)	28 漢字検定(放課後) 自宅学習	29 3年生登校日 就職内定者 キャリアシミュレーション講座 (13:00～15:30)	30 学習活動発表会
31 全商情報処理検定	2 / 1 自宅学習			登校日(予定) 1月29日(金)、2月19日(金) 2月26日(金)…卒業式予行 2月27日(土)…卒業式		

12月末～2月初頭までを含んだ予定表にしています。

共通テストを受ける人にとっては、いよいよ迫ってきましたね。しかしこれは全国の受験生に共通したものです。当たり前の話ですが、何十万人もの受験生が同一問題を同時間帯で解くわけですから、世間の注目が集まる試験です。ましてや「大学入学共通テスト」としてリニューアルした上に新型コロナへの対応も求められるわけですから、いつも以上に注目されることでしょう。センター試験から若干の変更も重なって不安も尽きないと思いますが、基本的なことができていたら、その場でも十分対応できます(地理歴史・公民に限っては)。そのためにも冬休み期間中は羽目を外さないよう過ごすことが肝心です。

そして、ほどなく「卒業考査」が待っています。この卒業考査を受ける君たちの姿で、君たちのその後が少し見えるといっても過言ではないでしょう。

最後のひとりが決まるまで浮かれるべからず

そういえばこんなことばを前回の学年通信で投げかけたと思いますが、みなさんはどのようにとらえていますか？

教師の小言としてとらえるのなら、それはまちがいです。君たちの周りには「峠を越えた」人もいれば、そうでない仲間も結構いるはずです。嬉しさのあまり気配りも見せない姿は、苦戦する仲間の傷に塩を塗るかのようなものです。

「受験は個人戦」という見方もありますが、内定をもらっている人の結果は、多くの方の支援がかなり効き目を発揮したものです。高校生活をほぼ終了した後の結果ではありません。**内定後も頑張り続けて、初めて同じ土俵に立てることを忘れないで下さい。**

私は「受験は団体戦」だと思っています。四半世紀前の時代であっても当時の学年の先生方が、個人だけを伸ばすような指導はしてなかったと記憶しています。全体が伸びれば個人の底上げにもなる（かつ個々の底上げは全体の向上につながる）。そのような在り方はセンターテストが共通テストに変わろうが、推薦枠が広がろうが、21世紀になっても変わらないはずです。

目と鼻の先だけを見るのではなく、1か月先・3か月先・半年先・1年先を構想することも君たちには必要なことです。

そして人間に優しくあるために、考えて実践する時です。

～写真屋さんからのお知らせ～

店頭での受取：12/26(土)まで

注文票の収集：12/28(月)【年内最終】

(ただし、受け取りは年明け)

営業開始：1/6(水) PM～

保護者の皆様へ

「内定」を得ることができたお子様については、おめでとうございます。

上記にもありますように、まだよい知らせを得ていない人がいるため、歓声を上げるわけにはいかないと考えています（3年前に担任だった時もそうでした）。8月以降、様々なやり方の入試が続き、内定者とそうでない者が、長きにわたってクラスの中に混在する状況は、時に教師として辛さを感じます。

内定をもらった者は、卒業までの間、自分の役目を模索し、残りの全員が笑顔で旅立つことのできる環境をつくるのが学年の教員の役割だと考えています。

いささか辛口ではございますが、どうぞ最後のひと踏ん張りをお願いします。

自動車メーカーのHONDAの創業者本田宗一郎自身は天才的な技術者だと言われています。会社を背負う立場ゆえ、日本でNo.1をめざすと豪語したこともあったようです。しかしひとりの天才に依存しては会社は頭打ちになると考えたのが、会社初の大学卒で、若き日の久米是志（後の3代目社長）でした。

「会社をNo.1にするのではない。将来の子どもたちに青空を残すためだ」。公害問題が深刻な時代、若い技術者たちがチームワークで、先の時代を考えて開発した新型自動車が「CIVIC」でした。

オヤジさん（宗一郎のことをこのように呼ぶ人が多かったようです）はCIVICの成功に対して、久米にこんな句を送っています。

「寒空に、耐えて花咲く、寒椿」

